



## 目次

1. 活動の目的
2. 田幸地区の紹介
3. 活動の流れ
4. ぶどうの新商品開発
5. 観光モデルコースの作成
6. 地域のお祭り
7. 活動を終えて



### 1. 活動の目的

前年度の活動にて、地域の観光資源や生活環境を調査  
→定住人口の増加が必要！

(人口流出を最小限に抑え、地域の発展・活性化に重点を置く)

○特産であるぶどうを活用した商品の開発

→ぶどう園と飲食店・製菓店がコラボし、店の利用者に田幸地区を知ってもらい  
三次市に限らず市外の人にもPRするきっかけを作る。

○田幸地区を訪れる機会を増やす

→家族連れや友達同士での観光など様々なニーズに合わせてコースを作成。

### 2. 田幸地区の紹介



★人口約1500人で、三次市の東部に位置

産業は、第一次産業中心の地域で、特に農産業・畜産業が盛ん

歴史は古く、最古の遺跡である塙町遺跡など数多くの古墳群が点在

### 3. 活動の流れ



田幸地区・三次市役所・三次観光推進機構の方と活動方針を共有



### 4. ぶどうの新商品開発



幅広い客層が訪れる店舗で広めたい

三次市内の飲食店と連携



PLACE三次店（洋菓子店）



炉端かば三次店（居酒屋）

## 新商品のイメージ候補を提案



## 新商品開発！！



## 販売実績

	単価(税込)	販売点数	売上げ
マスカットショート	¥500	239点	¥119,500
マスカットロール	¥1,600	32点	¥51,200
マスカットロールカット	¥450	141点	¥63,450
幸せの三次パンナコッタ	¥540	62点	¥33,480
雲海ソフト	¥750	46点	¥34,500
ぶどうソーダ	¥638	19点	¥12,122
ぶどうサワー	¥748	58点	¥43,384

合計約 600点 360,000円

## 中国新聞の朝刊に活動の様子が掲載！

中国新聞 朝刊 2024年(令和6年)9月21日(土曜日) 北海道 (22)

スイーツで発信 田幸地区の魅力

修道大生 × 地元店舗

4種考案し販売

広島修道大学 (元農芸系講師) 店舗で販売され、多くの客で賑わった。店舗では、地元の農家さんたちが、自家栽培のぶどうを販売している。

三次 田幸 地元店舗

古川美術

## 商品開発を通しての効果

毎年ぶどうを卸す契約が決定！



## 5. 観光モデルコースの作成

三次に訪れた人・住む人に  
三次・田幸地区の魅力を知ってもらうため  
紹介のチラシを作成

→「また来てみたい！」  
「ほかのコースも回ってみたい！」  
と思わせることで、リピーターの増加を図る



## 田幸地区住民（古川さん）の案内で観光地訪問



### ①歴史探求コース



**② 運動と食のコース**



**上井田ぶどう園**  
三次初の歴史あるぶどう園  
ワイナリーへ出荷するぶどうの栽培や朝採れぶどうの直売も行っています！

[コース詳細](#)



**三次市  
家族みんな  
楽しめる！**



移動距離 **28.3 Km**

作成: 広島県立大学「地域つながるプロジェクト2024」(図書を参考に)

**③ 芸術観光コース**



**広島三次ワイナリー**  
ワインはもちろん、ぶどうを使ったジュースの販売も行っています  
三次といえばここ！

[コース詳細](#)



**家族みんなで車で  
行く三次旅**

- 三次駅
- 辻村寿三郎人形館
- 三次ものけミュージアム
- mugi-mugi cafe
- トレックみよし  
広島三次ワイナリー

中村: 広島県立大学「地域つながるプロジェクト2024」(図書を参考に)

## 6. 地域のお祭り（田幸縁日）



ユニークな企画と屋台で大盛況！



## 7. 活動を終えて

### 成果

- 農家と販売店のマッチングから三次市内のぶどう農家・ケーキ屋に繋がりができ、**地産地消**に向けて動き出した
- 昨年度の活動で得た田幸地区の魅力（特産品のぶどう）を活用して、**連携先協力のもと、商品販売を実現**
- 商品販売・新聞取材によって客足の増加に貢献
- 実際に地域住民と観光地を訪問したため、コース作成時にイメージしやすかった
- 祭りへの参加を通して**地域住民と交流**できた



## 6. 地域のお祭り（田幸まるごと農まつり）



受付・抽選会の運営を担当

## 7. 活動を終えて

### 学んだこと

- たくさんの連携先との話し合いで田幸地区に出向く機会が限られた  
→ 一度に皆が行こうとせず、メンバーで**活動場所を分担**すると良かった
- チラシに田幸を含むコースだけでなく、田幸地区について詳しく紹介する一面があると良かった
- 人数が多く、メンバー間での共有が難しかった  
→ 優先順位を考え、**効率よく作業**することが大切だと感じた



## 7. 活動を終えて

### 今後の展望



- **SNS**や公式サイトを活用して、**田幸地区の魅力やイベント情報を積極的に発信**する。
- 三次市や広島県の企業・自治体と協力し、**田幸地区の観光資源を広域でPR**する。

## ご清聴ありがとうございました！





